

令和5年3月23日
 茅ヶ崎市景観まちづくり審議会
 諮問1号 資料3-3

R 4 第 1 回景観まちづくり審議会質疑・対応表

	質問	対応・回答
1	周辺の住民のこの施設への関わり方、自主的な管理活動などはどうなっているか。	市民団体として駒寄川の自然の保全活動をしている団体があります。市民団体のサイトによると月に一回程度駒寄川周辺を散策し、自然環境の調査をおこなっているようです。
2	生活に身近な駒寄川が景観重要公共施設に指定された際にどう良くなるのかというのを市民が感じられるように発信してほしい。市民が景観を意識して豊さを感じられるように指定してほしい。	この駒寄川をPRできる要素が茅ヶ崎市博物館の整備、公共サインの設置によって出来上がりました。それぞれの施設がつながりを持てるようにしているので、一つの施設を知ることができれば他にも知ることができるようにしたいと考えています。
3	交通アクセスが良くない場所なので周辺エリアの方のための指定になるのかなと感じるが、茅ヶ崎博物館や浄見寺周辺と一体として広報し、多くの人に使ってもらえるようにしてほしい。	指定しただけで終わりではなく、どのようにこの景観が良いのか市民や市外の方にも知ることができるように情報発信をしたいと考えています。
4	景観重要公共施設指定により駒寄川をアピールできればいいと思う。	
5	景観重要公共施設指定にあたり景観要素を設定すると思うがどのような要素があるか。	<p>①遊歩道（河川管理用通路）、②橋梁、③植栽帯、④自然の流水としました。</p> <p>①遊歩道（河川管理用通路）は、人々が行き交い景観を楽しむ場所であること、周囲の住宅地や公園・河川とのつながりを持たせている施設であり景観上重要であるため記載しています。</p> <p>②橋梁は、それぞれの橋が個性を持っており、景観にとって重要な要素になっているため記載しました。</p> <p>③植栽帯は、河川内にあるわけではありませんが、この駒寄川の景観的要素として重要なものであり一体となった状態を維持し続けることに意味があるとして記載しています。</p> <p>④自然の流水については清水谷を主な水源とした、年間を通じて枯れることのない水の流れによって、瀬や淵をはじめとする多様な河川地形を形成し、流水や地形が常に変化し続ける変化性が美しさともなっているため記載しました。</p>